

後援会活動

○2018年伊勢詣り

去る2月11日、恒例になりましたお伊勢さん初詣りは、多くの皆さんと楽しい旅が出来ました。



お決まりの店先で皆さんと談笑



乾杯の発声
ありがとうございました



皆さん談笑に花が咲きます

○後援会役員で防災研修にいらてまいりました

2月18日に後援会役員で静岡県の「地震防災センター」へ防災研修に行つて参りました。三河地区でも昭和東南海地震の1ヶ月後、昭和20年1月13日午前3時に幸田町深溝を震源とする三河地震が発生した。戦時中で詳しい記録は残っていませんが、死者は旧碧海郡で851人、負傷者1134人、住家の全壊2829戸、半壊6950戸、未明の発生で、「人的被害が非常に大きかった」とされています。



静岡県地震防災センター



家具の転倒防止無しの状



耐震補強



耐震・制震装置



自助・共助の精神

○後援会今後の予定

「後援会親睦バス旅行 松川さくらんぼ狩りと天竜峡散策」

日時：平成30年6月24日（日） 午前7時45分集合（コパン駐車場前）

会費：お一人様 大人9000円 子ども7000円（子ども用食事）

幼児は無料（食事なし） 申し込み〆切は、6月3日迄です。

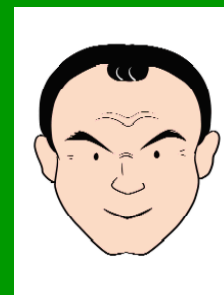
皆様方の多くのご参加をお待ちしています。



☆申込み及び後援会への問い合わせは090-8862-5371（後援会専用携帯電話）までお願いします。

今後もしろいろな企画を計画してまいりますので後援会活動の参加を後援会役員一同お待ちしております。今年もよろしくお祈いします。

編集人 後援会広報担当 木村邦彦



まなき便り

たよ

2018 No.28

発行：松尾まなき後援会

連絡先

〒446-0066安城市池浦町池上22-2

TEL 0566-76-8979 FAX 0566-97-1519

明るく、笑顔で安全、安心して
暮らせるまちづくりを

～ ご挨拶 ～

日頃は、皆様の温かいご支援ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

2月に2名で新会派進会（すすむかい）を結成し新聞でも報道されたため心配されるお声もかけていただきましたが、籍を置いていました会派安城創生会の方たちとも従来通り協力して地元のこと、安城市のことを進めてまいります。

進会では、商店街にも身を置く者同士として商店街振興のことも進めてまいりたいと考えております。

私も4月からは、議員2期目の4年目となりますが、今後も皆様方からのご意見を伺いながら皆さんにとって住みよいまちと実感がもてるまちづくりに努めてまいります。

今後も本紙まなき便りで議会活動や行政報告を掲載し、議員報告をさせていただきます。今後も皆様方の変わらぬご支援とご指導をお願い申し上げます。

“まなき”と考えよう vol.18

この号の内容

ご挨拶 1

特集記事

3月議会の開催 2

主な活動 3

後援会活動 4



皆さんはご存知ですか？安城市は、1950年の第5回国民体育大会で、初めてソフトボール競技が開催された地であり、競技ソフトボール発祥の地であり、言わば聖地です。

高校野球と言えば「甲子園」、ソフトと言えば「安城市」と全国的になるかも。と言うのは、H31から全国大学女子ソフトボール選手権が5年間本市で開催され、うまくいけばその後も開催地になるかもしれません。その他実業団日本リーグも開催予定です。それだけ多くの人が競技場に来るので、名鉄西尾線の「運動公園前駅」なんて新たに必要では？

皆さんはどう考えますか？

ソフトボールのカナダ女子ナショナルチームも本市で合宿が決まるなど、2020東京オリンピックに向け、ますますスポーツへの熱が高まります。

現在は行き止まりの県道安城高浜線も平成30年度予算には、調査委託料として2千3百万円予算が付いたので早期に開通させ一気にまちづくりを！



3月議会開催（3月2日開会～3月23日閉会）



平成30年3月第1回定例市議会は、3月2日から23日までの期間開催され、代表質問として市議会3会派の代表（安城創生会、みらいの風、公明党安城市議団）が、一般質問では9名が登壇しました。

議案の内容は、平成30年度当初予算、平成29年度補正予算を始め、条例の制定や改正など53議案と、報告、同意案件など合計58議案の審議を行いました。

過去2番目最大

【新年度の安城市はこうなります！】

◎H30一般会計当初予算の概要（総額675億円、前年比+6.2億円）

《歳入》市税収入：個人市民税は+1億円の136億円、法人市民税は+7億円の32億円

基金繰入：▲9億円の39億円 市債発行：▲1.6億円の31億円（いずれも対前年比）

《歳出》社会福祉や児童福祉関係の民生費が予算全体の36%を占め243億円でトップ

☆新年度新規事業は下記のとおり（市民に身近な事業を抜粋しました）

○町内防犯灯LED化促進事業（調査費）・・・ 780万円

・市内すべての蛍光灯式防犯灯を一括リース方式により完全LED化

○民間保育所等支援事業・・・ 15億円

・桜町地内の安城県税センター跡地に民間保育所を設置ほか

○子ども発達支援センターオープン・・・ 2.4億円

・旧中央図書館跡地に開所（通称：あんステップd）

○お誕生記念ここから健康事業・・・ 2,975万円

・出産に対し産後ケアなど選択できるサービスの提供

○あいち花フェスタ2018開催（11/22～25、デンパーク）・・・ 619万円

○名鉄新安城駅を橋上駅舎に改修・・・ 4億円

・南北自由通路にエスカレーターやエレベーターを設置しバリアフリー化（～H32）

○英語指導助手（外国人）活用事業・・・ 6,500万円

・新学習指導要領に対応するため、小学3,4年生に英語授業

○安城北中学校校舎改修（教室、黒板、LED照明、屋根防水、外壁 ～H32）・・・ 1.8億円

○文化センター、プラネタリウムの改修工事・・・ 14億円

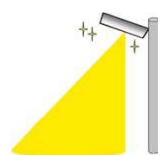
・ホールの音響特性向上、プラネタリウム投影機の更新など

○ホームチームサポーター事業、国際・全国大会の誘致・・・ 1,084万円

・バスケットボール：アイシン・エイ・ダブリュウインクス

・ソフトボール：デンソーブライトペガサスを応援

・全日本大学女子ソフトボール選手権大会の誘致（H31～35）など



1月～3月の主な活動

○町内会土木要望現地確認会

町内会より市に対し土木要望を行っているが、2月8日に町内会役員と市の職員による要望事項の現地での確認を行い私も同行させていただきました。

通学路の道路舗装、道路側溝等子ども達の安全に関する要望も含め多くの要望が出されており実施に向け努めます。



○行政調査活動

☆森林環境税について（総務省）

総務省では、森林環境税（仮称）創設を進めておられ説明を受ける。

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図る為、森林整備に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、次期通常国会における森林関連法令の見直しを踏まえ、平成31年度税制改正において森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設する。

☆土浦市コミュニティ交通運行支援について（土浦市）

土浦市では、公共交通不便地域の解消を図るため、コミュニティ交通の導入を進めている。コミュニティ交通の導入の対象となる地域は、民間事業者が公共交通を持続的に運行することが難しい地域である場合があり、そのためにコミュニティ交通を導入するには、「地域」「事業者」「行政」の三者が、それぞれの役割を担い力を合わせて行うことが必要になる。そのためコミュニティ交通の導入に際しての条件を3点決めている。

1点目は、「導入を希望する地域が公共交通不便地域の特定地域であること」人口密度が30人/ha以上であること・鉄道駅から800m以上バス停から300m以上離れた地域であること。

2点目は、「運行する地区において運営委員会を組織すること」コミュニティ交通を運営する組織であり自治会との連携が取れ地域の代表として活動する組織であること。

3点目は、「運行経費等の3割以上を運賃収入及び地元で負担すること」利用促進を図るとともに過度な行政負担を避け、持続可能な運行を図るため運行経費及び運営委員会経費の3割以上を運賃収入及び地元負担により確保する。

土浦市は、公共交通不便地域の解消を図るため土浦市コミュニティ交通運行支援という方式をとられている。公共交通不便地域自体が運営し費用も一部負担するこの方式は、公共交通不便地域自体の決断と努力が必要になる。

安城市も現在あんくるバスを運行しているが公共交通不便地域はあり今後の高齢化を考えた際公共交通施策の更なる検討は必要と考えます。

